



パラリンピックの賞状を手に、ほほえむ市川選手



市川選手の等身大パネルを役場1階ロビーに展示しました。

4年後はメダルを獲って、寄居町に凱旋したい

北京2022パラリンピック
スノーボードクロス 5位入賞
バンクドスラローム 8位入賞

市川貴仁選手が表敬訪問

パラリンピック入賞を報告

北京2022パラリンピックでスノーボードクロス5位、バンクドスラローム8位入賞を果たした寄居町出身の市川貴仁選手（寄居中出身）が3月28日、寄居町に凱旋。花輪町長を表敬訪問しました。

市川選手はパラリンピックの結果を花輪町長へ報告。報告を受け、花輪町長は「町民にとっ

て大きな喜びであり、町を代表して心からお祝いを申し上げます。市川選手の明るく、常に前向きにチャレンジする姿は、町民に大きな勇気と

希望、感動を与えてくれました。これからもさらなる活躍をお祈りするとともに4年後のメダルを楽しみにしています」と激励しました。

市川選手は「スノーボードクロスとバンクドスラロームの両競技で入賞することができました。この結果には、まだ『よくやった』とは言えないものの、上出来なのではと思っています。特にスノーボードクロスは、次の4年後には

メダルが見える大会となりました。今後の4年間、限界を越えず鍛え上げ、挑戦し、ミラノ・コルティナパラリンピックではメダルを獲って、寄居町に凱旋したいと思っています」と力強く話してくれました。

入賞を祝し、町から市川選手へ花束と記念品を贈呈しました。さらなる活躍が期待される市川選手。町では引き続き市川選手を応援していきます。



パラリンピック競技中、市川選手が実際に着用していたビブス。町に寄贈していただきました。